

平成 20 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社マツモトキヨシホールディングス
コード番号 3088 東証第1部
代 表 者 名 代表取締役社長 松本 南海雄
問 合 せ 先 財務経理部長 小松 栄二
TEL 047 - 344 - 5110

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 20 年 5 月 16 日の前期決算発表時に公表した平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 第 2 四半期累計期間の業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)
【単体】 (金額の単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	68,000	5,000	5,300	5,100	103 円 99 銭
今回修正予想 (B)	78,433	5,655	5,881	5,415	112 円 77 銭
増 減 額 (B - A)	+10,433	+655	+581	+315	-
増 減 率 (%)	+15.3%	+13.1%	+11.0%	+6.2%	-

【修正理由(単体)】

株式会社マツモトキヨシホールディングス(単体)は平成 20 年 5 月 16 日開催の取締役会にて株式会社マツモトキヨシの仕入れ事業を当社に会社分割により移管する決議を行い、平成 20 年 6 月 27 日開催の当社株主総会での本移管に伴う定款変更の承認を得た上で、平成 20 年 7 月 1 日より仕入れ事業を行っており、グループ各社に販売しております。株式会社マツモトキヨシが行っております FC 向けの販売の伸長もあり、売上高が前回予想数値に対して上回ることとなりました。

また、その他営業収入が前回予想に対して増加したこと等から、営業利益、経常利益、四半期純利益も前回予想数値を上回ることとなりました。

当単体の業績予想の修正が第 2 四半期累計期間の連結業績に与える影響は軽微であります。

なお、通期の業績予想数値は、前回発表予想からの変更はありません。

2. 第2四半期累計期間の連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

【連結】

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	198,800	7,000	7,700	3,300	67円28銭
今回修正予想(B)	196,782	7,264	7,993	3,476	72円40銭
増減額(B-A)	2,018	+264	+293	+176	-
増減率(%)	1.0%	+3.8%	+3.8%	+5.3%	-

【修正理由(連結)】

当第2四半期累計期間においては、新規出店についてその採算性確保をより慎重に行った結果、予想出店数ペースを下回ることとなりました。また、景気の後退により既存店売上高の伸長も苦戦を強いられた結果、売上高は前回予想数値を若干下回ることとなりました。

一方で、顧客ニーズに合った商品の展開及びPB商品の拡充等による売上総利益の改善、更に、広告宣伝費の削減或いはポイント付与方法の見直し等により販売費及び一般管理費の削減に努めてきました。その結果、営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想数値を上回ることとなりました。

なお、通期の業績予想数値は、前回発表予想からの変更はありません。